

# 標十五句

松岡隆子選

寝落ちたるやうなこの路地昼の月  
秋蝶に蹤きてしどろの歩みかな  
ひと仕事了へて連れ立つ秋の風  
初もみぢ晴女とは頼もしき  
変り目を平らに過ぎし林檎剝く  
葉月はや港の潮のうす濁り  
この里のどの垣となく零余子落つ  
穂絮とぶ遠きはらから思ふ日の  
虫の音の間合の狂ひ眠くなる  
また雲のよぎりて行きぬ九月の木  
木の橋の朝の湿りや鉦叩  
秋麗や坂を上りてまた下りて  
初月やふるさと遠く仏具拭く  
この星の綻ぶところ地虫鳴く  
亡き夫に千草の風を持ち帰る

秋元 きみ子  
鈴木 綾  
染谷 晴子  
川上 昌子  
別府 優  
松原 ふみ子  
平沢 千恵子  
渡辺 あつ子  
濱地 恵理子  
唐木 和世  
田中 敦子  
菊池 一枝  
富樫 郁子  
梶浦 道成  
植田 喜代子